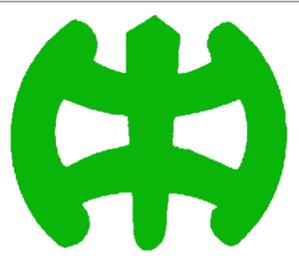


2023年も よろしくお願いたします



志 寛 錬
第2号
2023. 3. 3
第77代
伊敷中生徒会

三学期の「挨拶」

皆さん、三学期が始まって二か月が過ぎました。今年もよろしくお願いたします。突然ですが、みなさんは2023年の抱負を立てましたか。新年の抱負は、新年という新たな転機にもつ決意や目標のことで、『心の中に決意を「抱」き、責任を「負」う』という意味をもちます。



新年の抱負を設定することのメリットとして、主に次の二つが挙げられます。一つ目は、自分のなりたい姿や目指したい姿に近づけるということです。新年

の抱負は、先ほども紹介したように、新たな転機にもつ決意や目標のことです。つまり、自分で立てたその抱負を達成することが出来れば、自分の理想とする姿に近づくことができます。

二つ目は、計画性、自主性、責任感などの生活していく上で必要な社会性が身に付くということです。この文を見て、新年の抱負を立てることで社会性が身に付くのか？と疑問に思った人も多いと思います。例えば理想の姿に近づくために自分から新年の抱負を立てる

知っていますか？ジェンダレス

皆さん、ジェンダレスについて考えたことはありませんか。私たち伊敷中生徒会では今後、ジェンダレスについて自分たちにできることはないか模索していきたいと考えています。まず、ジェンダレスとはどのような意味か知っている

でしょうか。ジェンダレスとは、髪型や、心の在り方など、あらゆる場面で、性別による境界線を取り払う考え方を意味しています。それでは、ジェンダレスに関する次の問題に挑戦してみてください。

春の祭典、二年四組金賞受賞

一月二十一日、第五十六回鹿児島県中学校音楽コンクール「春の祭典」が開かれました。



出場したのは、今年度、校内音楽コンクールで見

事最優秀賞を受賞した、二年四組のみなさんです。二年四組が合唱として披露したのは、高木明子さんが作詞、橋本祥路さんが作曲を手掛けた、「広い世界へ」という楽曲です。これは1987年（昭和62年）につくられ、混声三部合唱で歌われることもある歌です。また、卒業式の歌としても使われることがあるそうで、心に残るメッセーJ性のある楽曲です。

二年四組は、この春の祭典のために、朝や放課後だけでなく、冬休み期間も使って練習しました。また、学年朝会でも二年生全員の前で合唱を披露しました。クラスが、まとまらずに衝突したり、諦めそうになったりしたこともあったのですが、当日は心を一つにして、落ち着いて、楽しんで歌えたそうです。

今回二年四組のみなさんが金賞を受賞したことで、クラス一丸となって努力することの素晴らしさを感じました。今年度も残り約一か月です。二年四組のようにクラス一丸となって何事にも挑戦していきたいですね。本紙裏面には、指揮者の大山蒼空さんと、音楽科の相良先生のインタビュー記事を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

（江平 蓮）

第一問

「ジェンダレス」はSDGsの何項目目でしょうか？

- ① 五項目目
- ② 九項目目
- ③ 十三項目目

第二問

日本の国会議員（衆議院）の女性の割合は、何%でしょうか？

- ① 約45%
- ② 約25%
- ③ 約10%

正解は、第一問目が①番、第二問目が③番です。知らない人も多かったのではないのでしょうか。本紙が、ジェンダレスについて考えるきっかけになると嬉しいです。皆で、考えていきたいですね。（上入佐 福咲）

入学説明会

一月二十日の放課後に、小学六年生に向けて入学説明会が行われました。私たちは、伊敷中学校の一日の流れについてソシオドラマで紹介しました。まず、朝の様子です。登校の様子をみてもらいながら、正しい門

札の仕方を説明しました。三大伝統である朝作業についても説明し、役割や必要性について理解してもらいました。二着一黙や授業前後の挨拶も演じ、小学校とは違う様子に少し驚いている六年生も多かったです。今回ソシオドラマを演じてみて感じたことは、入学してくる先輩がついていきたくなる先輩になりたい、

ということですね。ソシオドラマを見る六年生の顔は、希望に満ち溢れているように見えました。四月に入学してくる新入生が、伊敷中学校に誇りをもち、伝統を引き継ぎ、そしてさらに前に進んでいけるように私たちが先輩として支えていきたいですね。
(比良 莉愛)



二日間の職場体験学習（二年生）

大山 蒼空さん



Q 「春の祭典」に出場した感想を教えてください。
自分もみんなもとても緊張していたと思います。でも、今までみんなで団結して頑張ってきたので、金賞をとる自信はありました。だから、金賞をとったときはすごくうれしくてみんなですのうれしさを分かち合いました。また、様々な場面で活躍していきたいです。

相良 尚貴先生



Q 二年四組を指導してみてどうでしたか？
女子と男子の人数の比率も違うので声量のバランスを整えるのが難しかったですが、本番ではみんな落ち着いてとてもいい声が出ていたと思います。練習量も大事ですが、練習のときにクラスの皆の気持ちをそろえることも大事だと改めて思いました。



一月二十六日と二十七日に二年生は職場体験学習がありました。私は草牟田小学校に行きました。草牟田小学校では

いろいろな学年に入らせていただきました。私が職場体験学習で草牟田小学校へ行って感じたことは、先生という職業の大変さとやりがいについてです。大変さの面では、学校の先生は授業をするだけではない、ということ

です。児童に対する接し方やコミュニケーションも大事にしなければならないのだと感じ

ました。やりがいを感じた活動は、一年生への読み聞かせです。読み聞かせをするときは、皆が興味をもてるような絵本を探すところからはじまります。読む本が決まったら、次は読む練習です。練習は大変でしたが、一年生の皆さんが目を輝かせながら私の読み聞かせを聞いている姿を見て、とてもやりがいを感じました。二日間の職場体験学習を通して仕事をするの大変さを知り、また、働いている人たちへ感謝の気持ちをもつことの大切さを改めて感じました。今回私たちが受け入れてくださった事業所の方々への感謝の気持ちを忘れずに、自分の進路

について考えていきたいです。
(益満 大和)

生徒会の窓

三学期が始まって約二ヶ月が経ちました。三学期は別名、次の学年への「ゼロ学期」とも言われています。

皆さんは次の学年に上がる準備はできていますか。三年生はもうすぐ卒業して、新しい環境で新しい生活を送ることになります。一年生は先輩が入学してきて先輩になりますね。入学してからこれまで、先生方から教わったこと、先輩たちの姿を見て学んだことが多かったと思います。その学んできたことを、先輩たちに正しい姿で示せるように、今日から先輩になる自覚をもって学校生活を送ってほしいです。そして、二年生は受験生となります。中には、「受験まであと一年あるから、大丈夫。」と思っ

うに、今のうちからこつこつと努力を積み重ねていき、自分が進みたい進路に進めるようにしていきたいでしょう。また、三年生になるとことは、最上級生になるということです。この伊敷中学校を引っ張っていける存在にならなければなりません。一人一人が次の学年に上がる自覚をもち、残りの学校生活を大事に過ごしていきたいですね。
(谷口 蓮)

【編集後記】

今回の翌檜新聞も楽しんでいただけただけでしょうか。本号は二月に出版する予定でしたが、三月になってしまいました。これからは期日を守って頑張っていきたいので、翌檜新聞、どうぞ次号も楽しみにしてください。また、三年生の卒業に向けた「翌檜新聞号外」を十三日（月）に発行予定です。そちらも楽しみにしていただけると幸いです。

暖かくなったり寒くなったり気温の変化が激しい毎日ですので、体調管理には十分気を付けて、残り少ない三学期を楽しんでいきましょう。
(江平 蓮)